

どうなってるの



諫早市の財政

～私のまちのおサイフ事情～



フルーツバス停とコスモス



諫 早 市

目 次

1. 「財政」ってなんだろう？ P 1～2
2. 市の歳入（１年間の収入）をみてみよう P 3～5
3. 市の歳出（１年間の支出）をみてみよう P 6～7
4. 家計簿にたとえてみよう P 8
5. 市の借金（市債）はどうなっているの？ P 9
6. 市の貯金（基金）はどのくらい？ P 10
7. 市の財政状況はどうだったの？ P 11
8. 今後の諫早市の状況はどうなるの？ P 12～13

この「どうなってるの？諫早市の財政～私のまちのおサイフ事情～」では、主に市の基本的な行政サービスを行う「一般会計」について説明しています。また、掲載されている数値は、各年度決算の数値を用いています。

1. 「財政」ってなんだろう？

諫早市では、子育てや高齢者への支援、小中学校の運営、ごみの回収や処理、道路や公園、上水道・下水道の整備などさまざまなサービスを行っています。



これらのサービスを計画的に行うために、①使えるお金がどれくらい集まるか予測したり、②仕事にかかるお金の使い道を決めたり、③予定どおりにお金が使われたかを確認したりします。

これらをまとめて「財政」といいます。

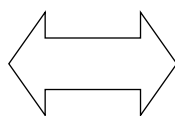
1 予算・決算ってなに？

市では、皆さんから納めていただく税金や国・県からの補助金などを使って、さまざまなサービスを提供したり、多様化する課題に取り組んだりしています。

限られた収入を「何に」「どれだけ」配分するのか、そしてそのお金をどう使ったのかを表したものが「予算」と「決算」です。



議会で審議され、決定される



議会上に報告し、認定を受ける

2 市のおサイフはどうなってるの？

諫早市では、一般会計・特別会計・企業会計の3種類のおサイフ（会計）があります。これらはお金の使い道などによって分かれていて、おサイフを分けることでお金の出入りをはっきりさせています。





収入 (歳入)

- ・市税、市債
- ・国や県からの補助金
- ・使用料、手数料 など



支出 (歳出)

- ・公園、道路整備
- ・子育て支援、教育
- ・市債(借金)の返済 など

それぞれのおサイフ
(会計)には「収入」と「支出」があり、1年間の収入を「歳入」と言い、1年間の支出を「歳出」と言います。



3 令和5年度一般会計決算額はどうだったの？

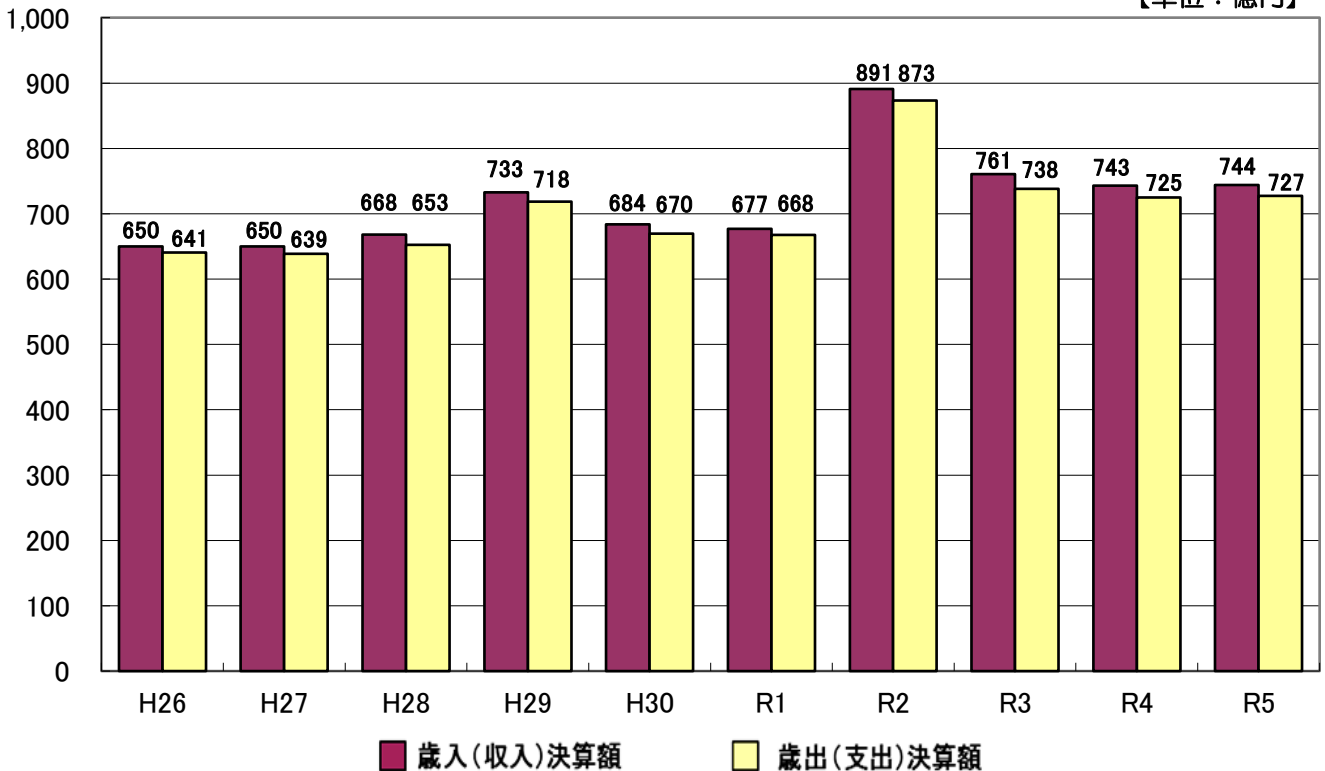
【歳入】 743億7,878万円

【歳出】 727億4,485万円



●年度別の決算規模の推移

【単位：億円】



令和5年度の決算規模は、歳入で約1億円(0.1%)の増、歳出で約3億円(0.3%)の増となりました。

歳入の増は、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業の減などにより、国庫支出金が減となったものの、都市整備事業基金繰入金の増などにより、繰入金が増となったことなどが主な要因です。

歳出の増は、いさはや地域振興商品券事業や営業時間短縮要請協力金支給事業の減などにより、補助費等が減となったものの、文化会館大規模改修事業や工業用水道施設拡張事業繰出金の増などにより、普通建設事業費が増となったことに伴い、投資的経費が増となったことなどが主な要因です。

2. 市の歳入（１年間の収入）をみてみよう

諫早市の歳入には、「自主財源」と「依存財源」があります。

自主財源

市民の皆さんに納めていただく市税や手数料など、諫早市が自主的に財源として集めることができる収入です。

依存財源

国や県からの補助金や借入金である市債など、国が定めた額を交付されたり、割り当てられたりする収入です。

「自主財源」の割合が高いほど、財政運営の「自主性」と「安定性」を確保できます。

【令和５年度一般会計歳入決算の内訳】

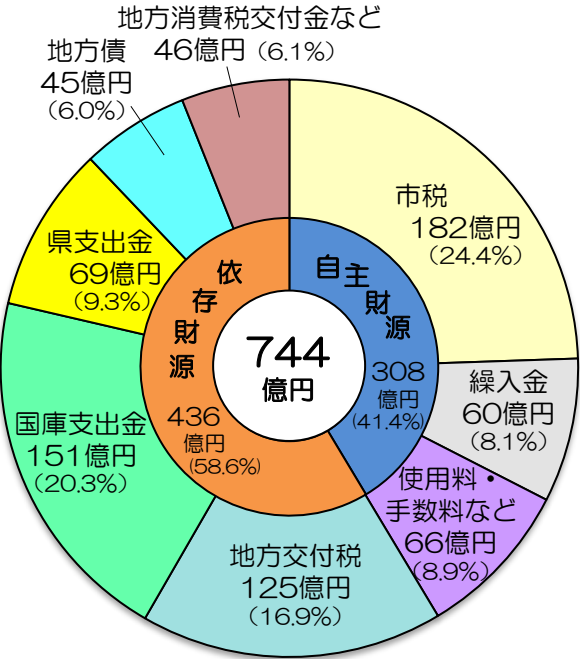
自主財源 308億円（41.4%）

「自主財源」の割合は、前年度から0.7ポイント上昇しました。

これは、市税や繰入金の増などにより自主財源が増となる一方、国庫支出金の減などにより依存財源が減となったことによるものです。

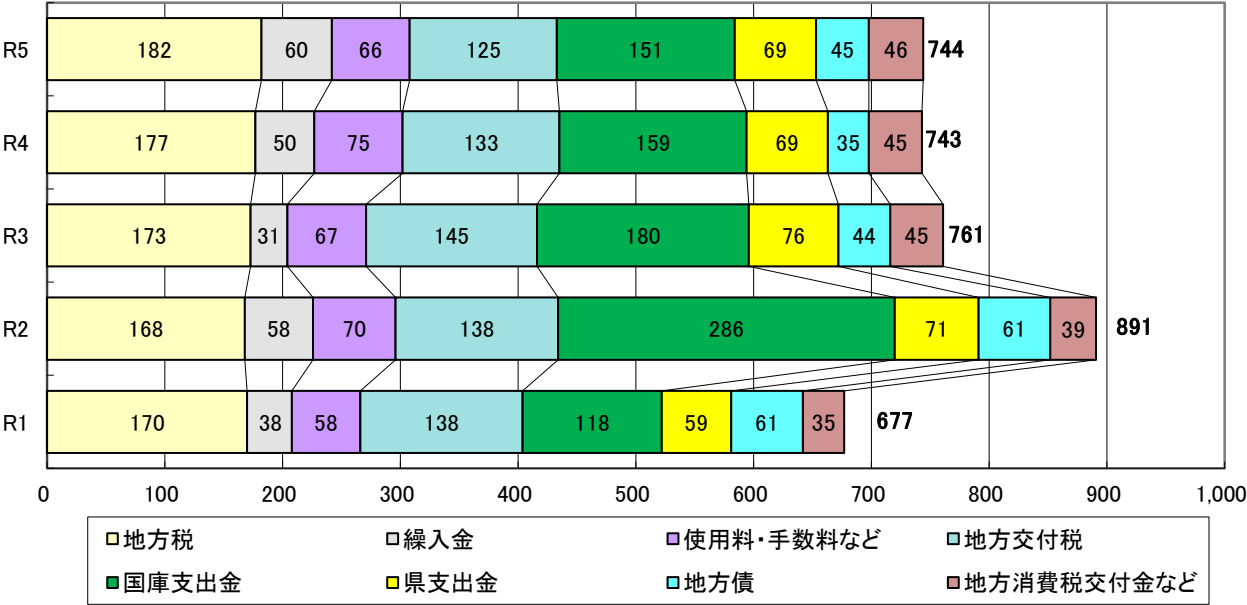
今後も市の財政運営の自主性と安定性を保つため、市税をはじめとする「自主財源」の確保が課題となります。

（自主財源）
市税や繰入金の増などにより増（5億円）
（依存財源）
国庫支出金の減などにより減（▲5億円）



●主な歳入の推移

【単位: 億円】



（市の歳入の主なもの）

- 市 税 … 市民の皆さんや企業から納めていただくお金
- 国・県支出金 … 道路の整備など特定の事業を実施するため国や県からもらうお金
- 地方交付税 … どの地域に住んでいる人にも一定水準の行政サービスを提供できるよう国から地方自治体へ配分されるお金

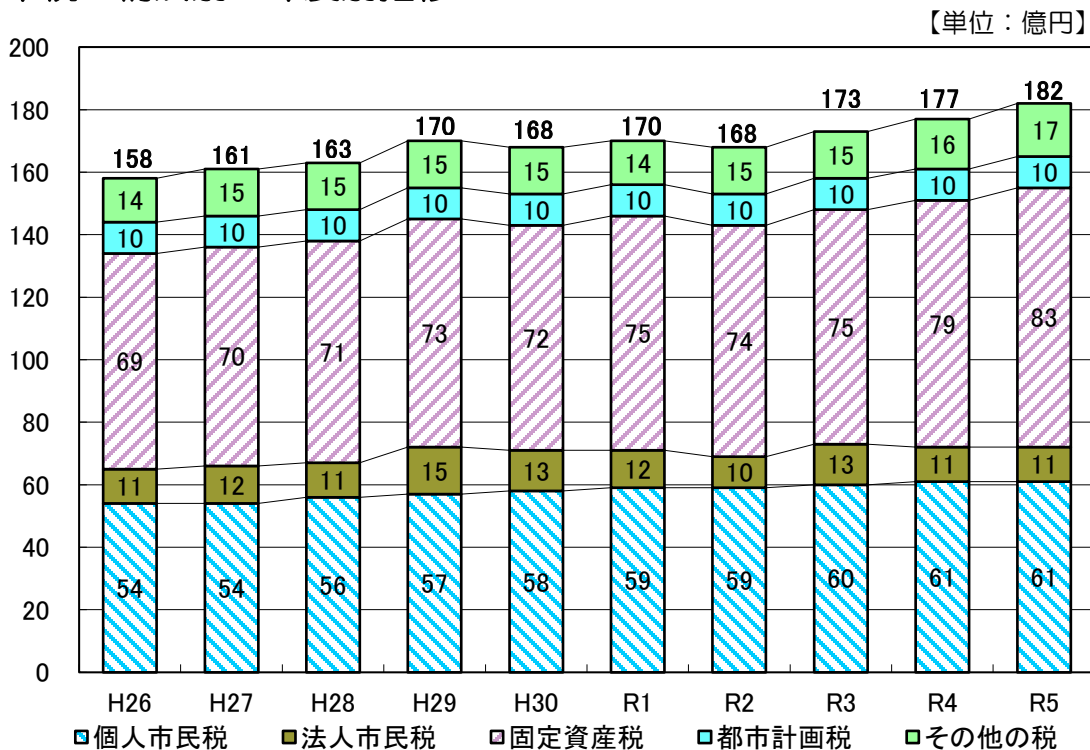
1 市税の状況

●市税にはどんなものがあるの？

市民税  市民の方に所得に応じて納めてもらう税及び市内の会社に利益に応じて納めてもらう税	固定資産税  土地や家屋などを所有している方に納めてもらう税	軽自動車税  軽自動車などを所有している方に納めてもらう税
市たばこ税  たばこを購入した方に納めてもらう税	都市計画税  市街化区域内に土地や家屋を所有している方に納めてもらう税	入湯税  鉱泉浴場に入湯した方に納めてもらう税

令和5年度は、前年度から約4.4億円（+2.5％）の増となりました。
 （増えた主なもの） 「固定資産税」… 設備投資の増及び課税免除の終了等によるもの
 「個人市民税」… 雇用環境が改善されたこと等による給与所得の向上によるもの

●市税の構成別・年度別推移



市税は、設備投資の増及び課税免除終了による償却資産に係る固定資産税の増、雇用情勢が緩やかに持ち直しつつある状況の中で、給与所得が向上したことによる個人市民税の増（給与特別徴収税額の増）により、前年度を上回りました。
 行政サービスを提供するための最も基本的な財源であり、今後も安定確保に努めていく必要があります。

2 地方交付税の状況

●「地方交付税」ってなに？

全ての地方自治体が一定水準の行政サービスを提供できるように、国から地方自治体へ配分されるお金のことです。

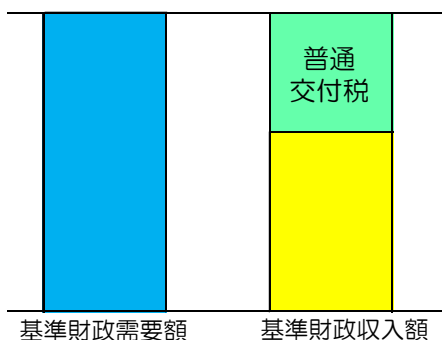
税収は自治体間ではばらつきがありますので、税収だけではサービスを提供できない自治体に対して、この不均衡を調整するために国が徴収する国税の一定割合が「地方交付税」として配分されます。

なお、その使い道については、地方自治体が原則自由に決めることができます。

「地方交付税」は、その性質により下記の2つに区分されます。

普通交付税

基準財政収入額（標準的に見込まれる税収入の一定割合の額）が基準財政需要額（標準的なサービスを行うために必要な経費）より少ない場合に交付されます。



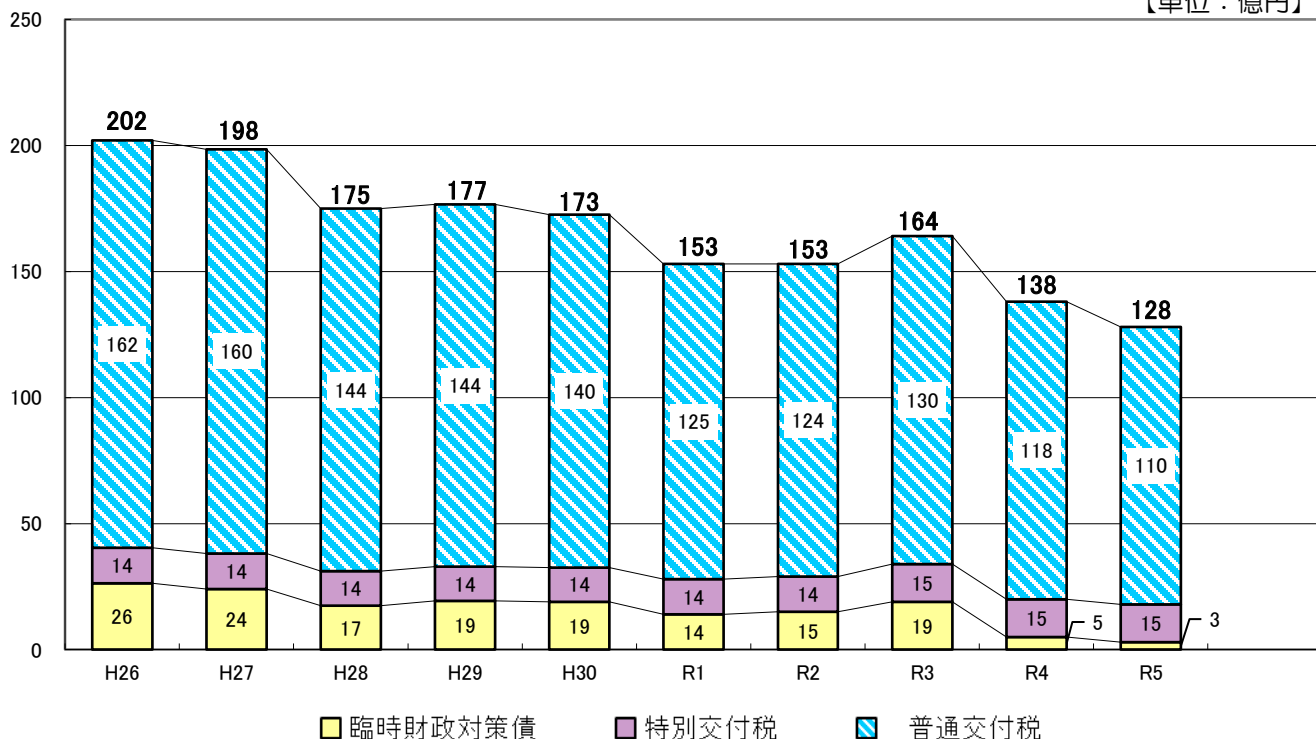
特別交付税

災害復旧など普通交付税で算定されない特別の財政需要に対して交付されます。



●地方交付税等の構成別・年度別推移

【単位：億円】



合併前の市町ごとに算出した普通交付税額の交付を受けることができる特例措置（合併算定替えによる特例加算）の影響等により、普通交付税は令和2年度まで段階的に減少しました。令和3年度は再算定に伴う追加交付などにより増加しましたが、令和4年度以降は市税等の基準財政収入額の増加に伴う普通交付税の減などにより減少しています。

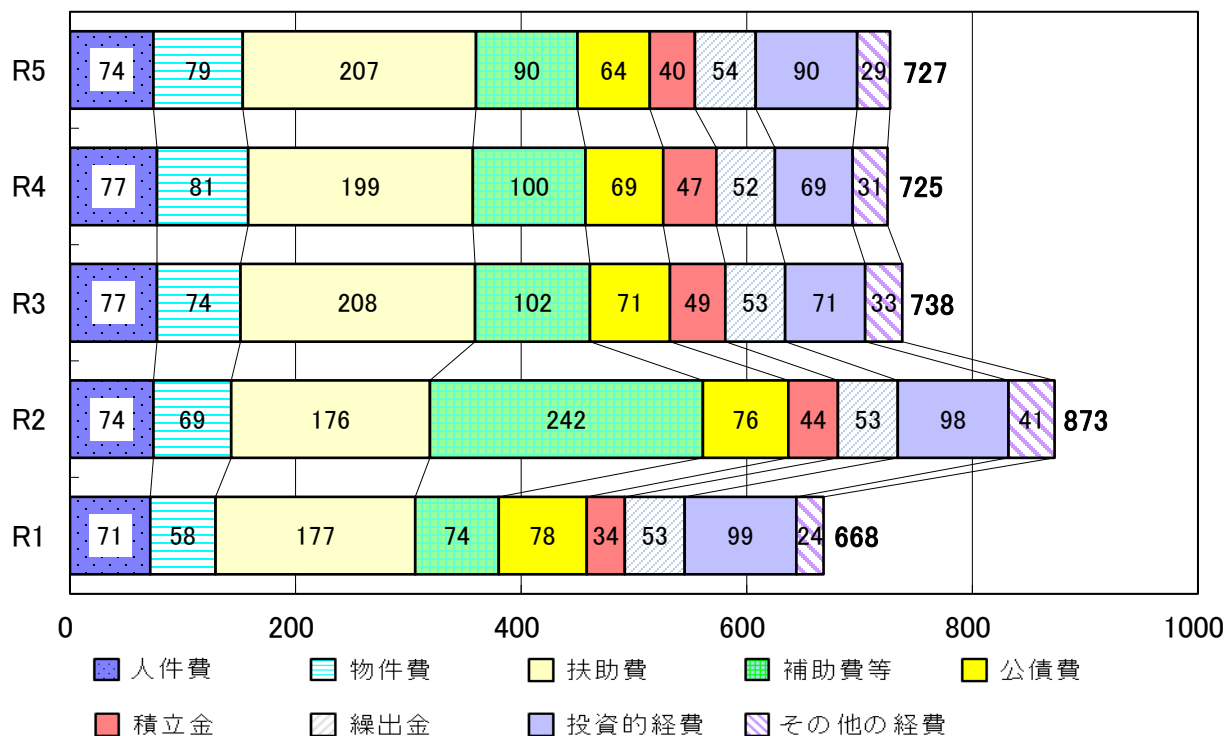
3. 市の歳出（1年間の支出）をみてみよう

歳出を経費の性質によって分類し、その推移を表したものが下のグラフになります。

令和5年度決算では、文化会館大規模改修事業や施設拡張事業繰出金などの増により、投資的経費が増加しました。

●歳出の構成別・年度別推移

【単位：億円】



歳出の名称		歳 出 の 内 容
義務的経費	人件費	職員の給料、議員の報酬、共済費や各種手当などの経費
	扶助費	生活保護費、保育所の運営費、障害者の福祉サービスなどに要する経費
	公債費	道路、体育館や学校整備などの際に使った借入金返済のための経費
物件費		公共施設で使用する電気代、水道代や施設の管理委託などの経費
補助費等		諫早市が他の市と共同で行っているごみ処理事業、消防事業に対する費用、自治会や市民団体で行っている事業にかかる費用に対して支出している経費など
積立金		将来の大型事業などに備えるために、諫早市の基金（預金）に積み立てる経費
繰出金		国民健康保険事業や介護保険事業などの特別会計（特定の歳入歳出を一般の歳入歳出と区別して別個に処理するための会計）に対しての経費
投資的経費		道路、学校や公園などの建設や改修に要する経費
その他の経費		維持補修費や投資及び出資金など

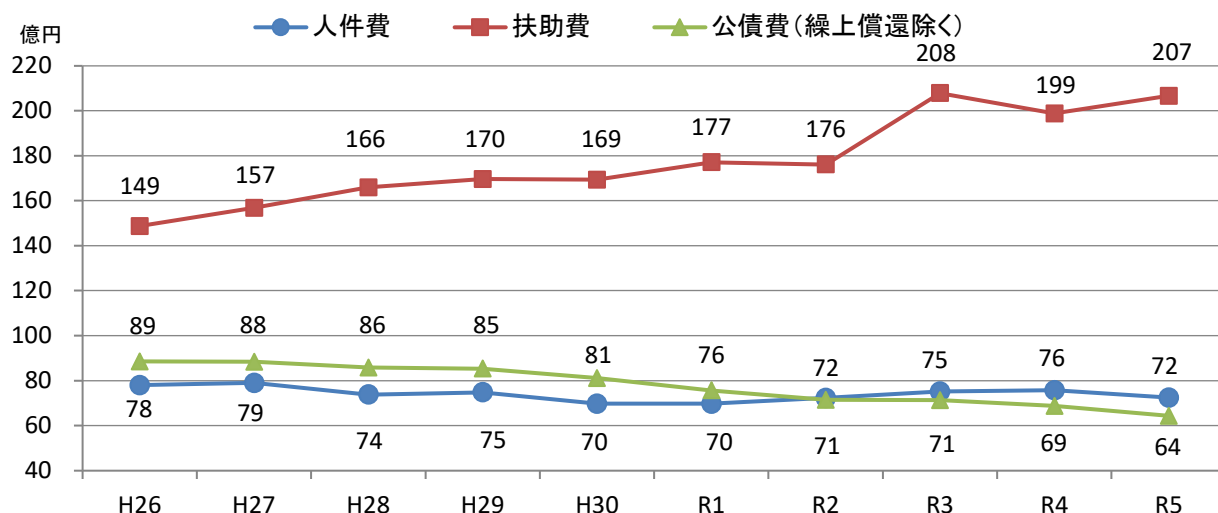
●令和5年度の状況（前年度との比較：主なもの）

- 投資的経費（増） … 文化会館大規模改修事業や施設拡張事業繰出金などの増
- 補助費等（減） … いさはや地域振興商品券事業や営業時間短縮要請協力金支給事業などの減
- 積立金（減） … 基金積立金などの減
- 公債費（減） … 定期償還の減による減
- 人件費（減） … 職員人件費（一般職退職手当）などの減

●義務的経費の推移

人件費、扶助費、公債費は毎年の支出が義務付けられて、節減することが難しいため「義務的経費」と分類されています。

「義務的経費」の割合が高くなると、自由に使えるお金が少なくなり新しい市民サービスや施設の建設などが難しくなります。

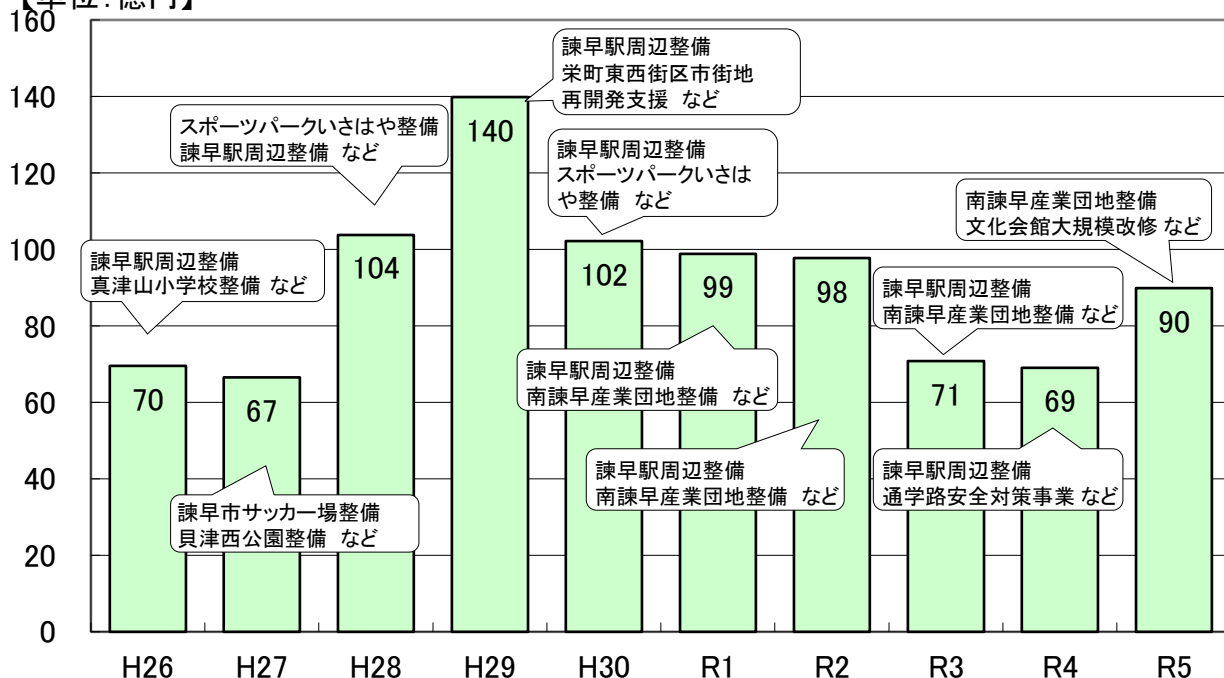


- ・人件費は、令和4年度は委員等報酬の増（消防団員報酬の増）により増加しましたが、令和5年度は一般職退職手当の減により減少しました。
- ・扶助費は、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業などが減となる一方、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金支給事業の増などにより増加しました。少子高齢化の進展により年々増加傾向にあります。
- ・公債費は、計画的償還（返済）により、年々減少してきています。

●投資的経費の推移

「投資的経費」には、道路、公園等の社会資本施設整備や学校、体育館等の公共施設整備、災害復旧にかかる経費などがあります。

【単位：億円】



4. 家計簿にたどってみよう

市と私たちの家計では、金額やその使い道に大きな違いがあり、単純に比べられませんが、市の令和5年度一般会計決算額の内容を、年収500万円の家計簿に置き換えてみます。

家庭



市役所



《 収 入 》

給 料	122万円
パート収入	28万円
不動産収入	1万円
貯金の取り崩し	41万円
お祝い金	3万円
前年からの繰越金	12万円
市役所等からの給付金	263万円
銀行からの借入金	30万円
計	500万円

《 支 出 》

食 費	50万円
家族の医療費	139万円
ローンの返済	43万円
光熱水費、通信費	53万円
家、車などの修理	
家の増改築	65万円
家族への仕送り	97万円
貯 金	27万円
友人への融資	15万円
計	489万円

翌年度への繰越金 11万円

《 収 入 》

市 税	181億7,882万円
使用料・手数料など	41億9,367万円
財産収入	1億1,745万円
繰 入 金	60億2,125万円
寄 付 金	4億2,996万円
繰 越 金	18億2,084万円
地方交付税、国県支出金など	391億6,229万円
市 債	44億5,450万円
計	743億7,878万円

《 支 出 》

人 件 費	74億 853万円
扶 助 費	206億6,177万円
公 債 費	64億2,689万円
物 件 費	79億3,890万円
維持補修費、普通建設事業費など	96億6,706万円
繰出金、補助費等	143億6,486万円
積 立 金	40億4,381万円
投資・出資・貸付金	22億3,303万円
計	727億4,485万円

翌年度への繰越金 16億3,393万円

こうやって見ると、家族の医療費が多いわ。どれも生活していく上で必要な費用だから、いろいろと工夫していく必要があるわね！



5. 市の借金（市債）はどうなっているの？

「市債」とは、道路や学校など、公共施設の建設、整備など臨時的に多額の費用が必要となる場合に、その資金を国や銀行等から借り入れ、数年かけて返済する市の借金です。

●なぜ借金をするの？

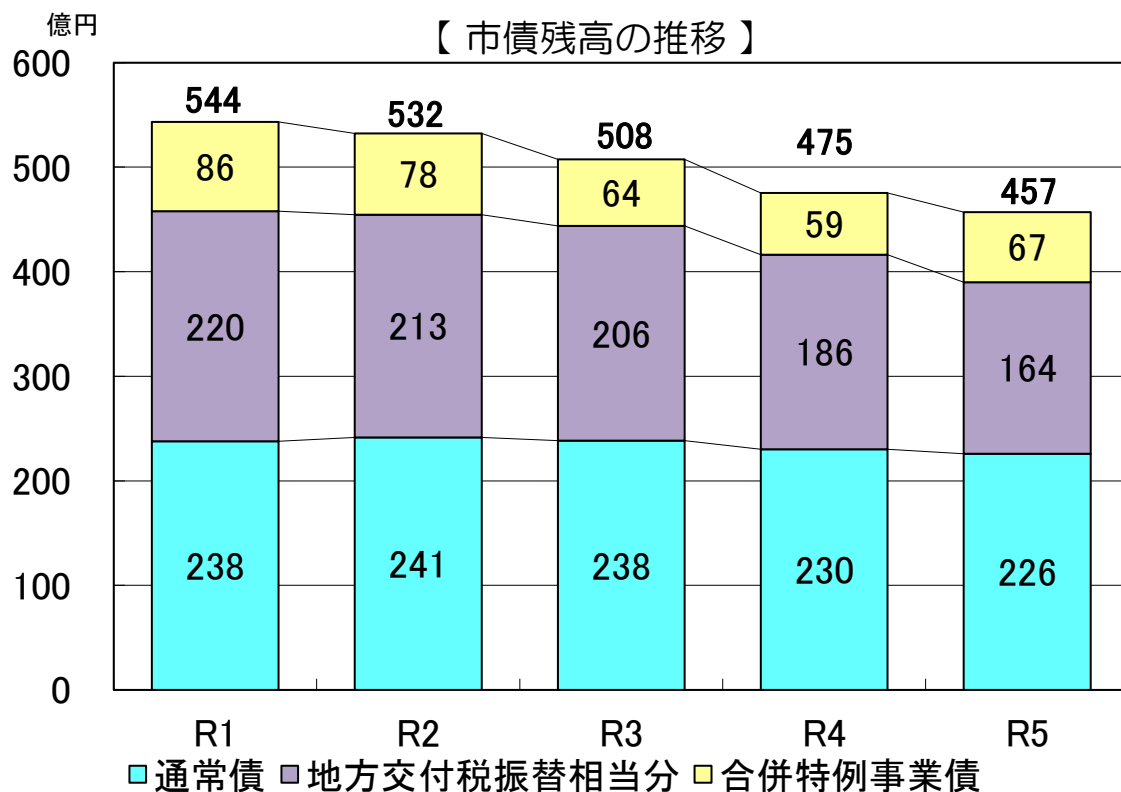
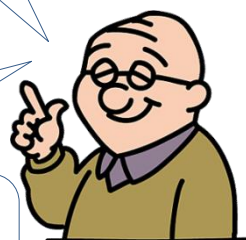
- ①「現在の市民と将来の市民の負担を公平にする」
- ②「毎年の財源を平準化させる」 2つの役割があります。

公共施設の整備には多額の費用が必要となるため、これをその年の収入だけで賄うと他の事業の財源が少なくなります。

また、公共施設は現在の市民だけでなく、将来の市民も利用するものであり、市債を活用し数年に分割して支払うことで、公平に負担してもらうことができます。

●借金はどれくらいあるの？

市の借金（市債）残高は、新たに約44億円を借入（借金）する一方、約62億円の返済をしたことにより、令和5年度末で約457億円となり、令和4年度末と比べて、約18億円減りました。



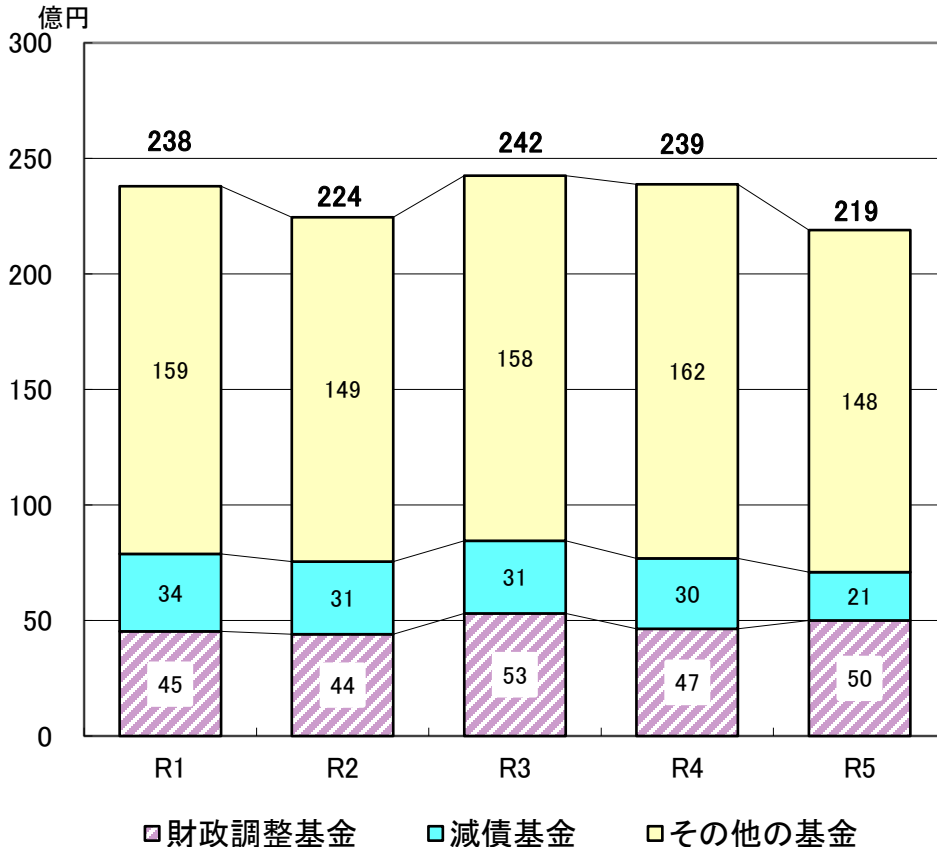
新市発足以来、借入と返済のバランスを考慮しながら、計画的に市債残高の縮減を図ってきました。今後も財政状況に応じて繰上償還を行うなど、後年度に大きな負担とならないよう、可能な限り縮減していく必要があります。

6. 市の貯金（基金）はどのくらい？



市には貯金にあたる「基金」というものがあります。
「基金」には、公共施設の整備など特定の目的のために積み立てるものと、税収の減や災害の発生など不測の支出に備えるために積み立てておくもの（財政調整基金）があります。

●基金の構成別・年度別推移



令和5年度は、ふるさと応援寄付金を主とした寄付金等により積立を行った一方、定期償還への充当財源とした減債基金の取り崩し及び施設拡張事業繰出金への充当財源とした産業活性化基金の取り崩し等を行ったことにより、令和5年度末時点で、令和4年度と比べて、約20億円の減となりました。



令和5年度のふるさと納税は、4億円を超える寄付をいただきました。

諫早市では、ふるさと納税のお礼品として、魅力ある特産品を多数準備しておりますので、市外にお住まいの御親戚や御友人への紹介をお願いします。

詳しくは、「諫早市ふるさと納税特設サイト」をご覧ください。

<https://www.city.isahaya.nagasaki.jp/site/furusato/>

いさはや 特設サイト

検索



7. 市の財政状況はどうだったの？

令和5年度の決算状況をみてきましたが、諫早市の財政状況はどういう状況でしょうか？

地方自治体の財政状況を知るための指標である「健全化判断比率」を見てみましょう。

健全化判断比率とは？

健全化判断比率には、①実質赤字比率 ②連結実質赤字比率 ③実質公債費比率 ④将来負担比率の4つの指標があり、赤字や負債の状況をチェックするものです。

この健全化判断比率は、市民の皆さんに毎年公表することが義務付けられています。

●健全化判断比率の状況

指標名	内 容	諫早市の指標	早期健全化基準 (黄信号)	財政再正基準 (赤信号)
実質赤字比率	一般会計等の実質赤字の標準財政規模に対する割合	—	11.61%	20.00%
連結実質赤字比率	すべての会計の実質赤字の標準財政規模に対する割合	—	16.61%	30.00%
実質公債費比率	一般会計等が負担する実質的な公債費の標準財政規模に対する割合	7.3%	25.0%	35.0%
将来負担比率	一般会計等が将来的に負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合	—	350.0%	—

※ 実質赤字比率及び連結実質赤字比率の「—」は赤字額が生じなかったことを示すもの

※ 標準財政規模…市税や地方交付税など、地方公共団体の自由に使える収入を標準化したもの

※ 将来負担比率の「—」は、負担比率が生じなかったことを示すもの

諫早市の財政状況は、4つの指標すべてで基準値を下回っており、

健全段階

です。

8. 今後の諫早市の状況はどうなるの？

諫早市の財政状況は今後も安心と言えるのでしょうか。

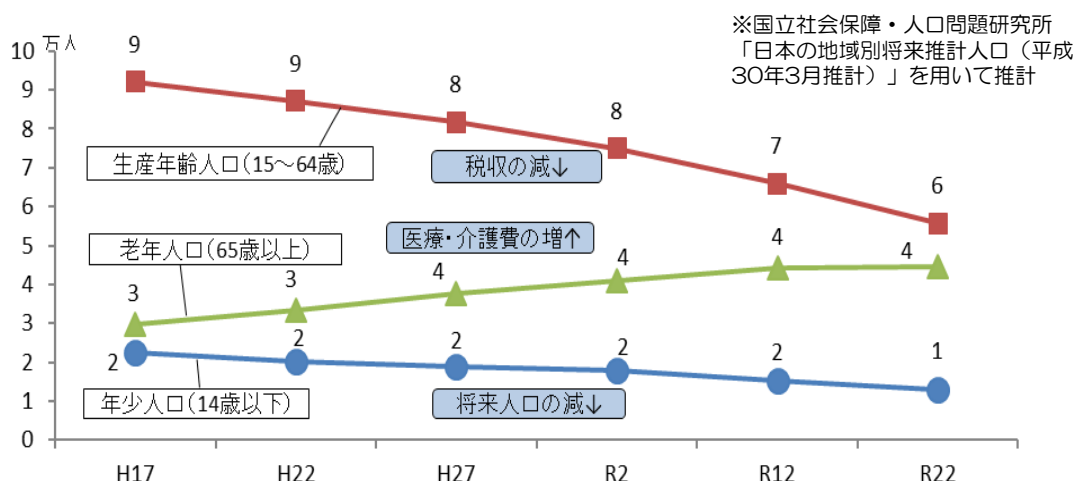
今後の財政運営に影響を与えると思われる2つの要因について考えてみます。

1 少子高齢化による社会保障関係費の増加

①進行する少子高齢化

生産年齢人口の減少に伴い、税収の伸びが見込めない一方、高齢者人口は増加し、医療・介護費の増加は避けられない見込みです。

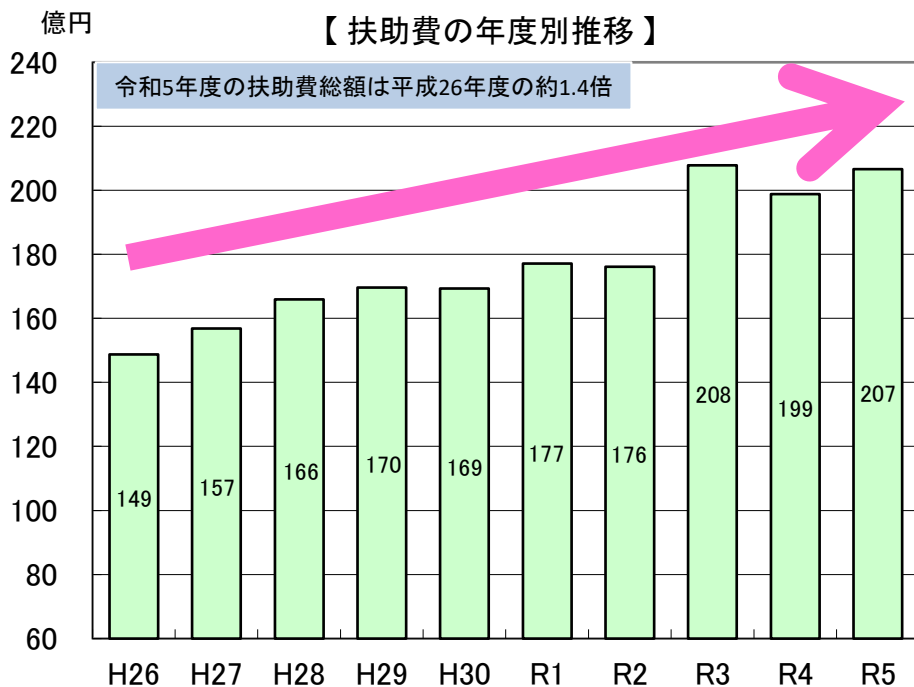
また、年少人口の減少は、将来の生産年齢人口が減少、ひいては税収の減にも繋がることになります。



②伸び続ける扶助費

扶助費は、子どもや障害者、高齢者などへの支援に要する経費ですが、少子高齢化に伴う人口構造の変化や社会情勢の変化など、さまざまな課題に対応するため年々増加しています。

歳出に占める割合が高くなることで、他の事業の財源に影響を与えることが懸念されます。





本市を含めた地方公共団体では、高度経済成長期に多くの公共施設等が整備されています。今後これらの施設が集中的に更新時期を迎えることに伴い、更新にかかる費用の増大が見込まれています。

一方、少子高齢化の進展による税収の減少や社会保障関係費等の増大により、今後の財政状況は厳しさを増すことが予想され、公共施設等の維持管理や更新等への費用負担が課題となっています。

市民の皆さんが必要とする施設を将来にわたって安全・安心に利用できるよう「諫早市公共施設等総合管理計画」及び施設ごとの維持管理等の実施計画である「個別施設計画」に基づき、長期的な視点を持って公共施設等の長寿命化を計画的に行うとともに、財政負担の平準化を図ります。

3 諫早市の今後の財政運営について

市では、事務事業の見直しや定員管理の適正化などにより、経常的経費の削減に努めるとともに、国や県の補助金・交付金や合併特例事業債、普通交付税の特例措置といった財政面で有利な制度などを活用しながら、都市基盤の整備と市民サービスの向上を図ってきました。

人口減少や海外情勢の影響等に伴い、本市財源の根幹となる市税等の収入が予測しにくい状況にあることから、これまで以上に限られた財源の効率的な配分に努め、増加する社会保障関係費や個別施設計画に基づく施設改修などに対応していくとともに、定住化の促進や子育て支援の充実、地域の活性化など将来を見据えた施策を総合的に講じることによって、持続可能な財政運営を目指していきます。



どうなってるの？諫早市の財政
～私のまちのおサイフ事情～

編 集 諫早市企画財務部 財政課
住 所 〒854-8601 諫早市東小路町7番1号
TEL 0957-22-1500
FAX 0957-27-0111
E-mail zaisei@city.isahaya.nagasaki.jp
ホームページ <https://www.city.isahaya.nagasaki.jp/>